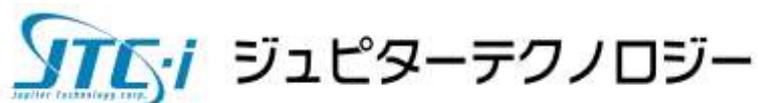

Ekran v.6.34

リリースノート

Rev. 1.0

2021.07.27



目次

1	v.6.34.5 (Build: 6.34.126)	1
1.1	修正	1
1.1.1	ジャンプサーバーパスワード代行入力機能の接続失敗	1
2	v.6.34.3 (Build: 6.34.57)	1
2.1	改善	1
2.1.1	アラート通知時の ID・キーワード通知(Windows)	1
3	v.6.34.2 (Build: 6.34.57)	1
3.1	修正	1
3.1.1	セッション一覧の期間によるソート・フィルター	1
4	v.6.34.1 (Build: 6.34.53)	1
4.1	新機能	1
4.1.1	Linux クライアントにおける二次認証の除外ユーザー	1
4.1.2	シークレットのローテーション(PAM)	2
4.1.3	macOS アラート生成時の監視対象ユーザーへのアクション	2
5	v.6.33.2 (Build: 6.33.122)	2
5.1	改善	2
5.1.1	アプリケーションサーバー (Ekran サーバー) の実行権限	2
5.1.2	パスワード管理ページにおける検索	2
5.1.3	データベースのクリーンアップの安定性	2
6	v.6.33.1 (Build: 6.33.92)	2
6.1	新機能	2
6.1.1	Ekran System Data Connector v.1.0	2
6.1.2	セッション記録時の IP フィルタリング (ローカル)	2
6.2	改善	3
6.2.1	Single-Sign On (SSO)の HTTPS 対応	3
6.2.2	音声記録の安定性	3
6.2.3	画像ファイルのクリーンアップの安定性	3
6.2.4	管理ツールのログ (監査ログ)	3
7	v.6.32.1 (Build: 6.32.34)	3
7.1	新機能	3
7.1.1	macOS の URL アラート	3
7.2	改善	3
7.2.1	セッションプレイヤーの日時列	3

7.2.2	アーカイブセッションの閲覧権限	3
8	v.6.31.2 (Build: 6.31.60)	3
8.1	改善	3
8.1.1	macOS クライアントの大規模展開	3
9	v.6.31.1 (Build: 6.31.28)	3
9.1	新機能	4
9.1.1	macOS での Web ブラウザーURL 記録	4
9.2	改善	4
9.2.1	Ekran 管理ツールのクライアント管理ページの改善	4
9.2.2	SIEM 連携機能のログインメッセージ出力	4
9.2.3	レポートのスケジュール作成機能の月末設定	4
9.2.4	ヘルスマonitoring機能のメール通知除外設定	4
9.2.5	パスワード管理機能のソートの改善	4
9.3	修正	4
9.3.1	ロゴ画像のカスタマイズの修正	4
9.3.2	レポートのスケジュール作成ページにおける検索の修正	4
10	v.6.30.2 (Build: 6.30.51)	4
10.1	修正	4
10.1.1	USB アラートのブロックアクション	4
11	v.6.30.1 (Build: 6.30.42)	5
11.1	新機能と改善	5
11.1.1	シークレット(PAM)の使用請求	5
11.1.2	管理ツールのクライアント管理ページの改善	5
11.1.3	二要素認証タブにおけるソート	5
11.2	修正	5
11.2.1	ログイン時の追加ウィンドウの操作記録	5
11.2.2	SIEM ログのローテート	5
11.2.3	PAM 接続マネージャー内のシークレット表示	5
12	v.6.29.1 (Build: 6.29.58)	6
12.1	新機能と改善	6
12.1.1	X11 用ライセンスの追加	6
12.2	[Enterprise] ロードバランシング対応準備	6
12.3	既知の問題	6
12.3.1	USB アラートのブロックアクション	6
13	v.6.28.1 (Build: 6.28.84)	6
13.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	6

13.1.1	管理ツールの日本語翻訳更新	6
13.1.2	記録セッションのクリーンアップとアーカイブのパフォーマンス	6
13.1.3	macOS クライアントの大規模展開	6
13.2	エンタープライズ版限定	7
13.2.1	[Enterprise] マルチテナント機能の macOS 対応	7
13.2.2	[Enterprise] シークレット(PAM)の使用請求	7
13.2.3	[Enterprise] ServiceNow 連携機能の改善	7
14	v.6.27.6 (Build: 6.27.221)	7
14.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	7
14.1.1	Linux クライアントのクリーンアップ時のパフォーマンス	7
14.1.2	マスターパネル	7
15	v.6.27.5 (Build: 6.27.197)	7
15.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	7
15.1.1	ネットワーク帯域消費の改善	7
16	v.6.27.4 (Build: 6.27.157)	7
16.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	7
16.1.1	管理ツールのパフォーマンス改善	7
17	v.6.27.3 (Build: 6.27.133)	8
17.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	8
17.1.1	ゴールドインイメージモードのパフォーマンス改善	8
17.1.2	その他の機能の改善	8
18	v.6.27.2 (Build: 6.27.94)	8
18.1	エンタープライズ版限定	8
18.1.1	[Enterprise] アーカイブ済みセッションページの修正	8
19	v.6.27.1 (Build: 6.27.89)	8
19.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	8
19.1.1	Ekran 管理ツールのクライアント管理ページの改善	8
19.1.2	二次認証ユーザーのログインアラートの E メール通知	8
19.1.3	ブロック済みユーザーのログインメッセージのカスタマイズ	8
20	v.6.26.3 (Build: 6.26.230)	8
20.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	9
20.1.1	Linux クライアントのインストール用パラメーターファイル	9
21	v.6.26.2 (Build: 6.26.194)	9
21.1	エンタープライズ版限定	9
21.1.1	[Enterprise] Active Directory アカウントシークレット (PAM) の修正	9
22	v.6.26.1 (Build: 6.26.179)	9

22.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	9
22.1.1	管理ツールのログの改ざん検知	9
22.1.2	レポート生成機能のパフォーマンス改善	9
22.1.3	Windows Server 2008 R2、MS SQL Server 2008 サポート終了	9
22.2	エンタープライズ版限定	9
22.2.1	[Enterprise] Web シークレット (PAM) 機能	9
22.2.2	[Enterprise] SQL シークレット (PAM) 機能	10
23	v.6.25.6 (Build: 6.25.197)	10
23.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	10
23.1.1	ユーザー操作の定期記録	10
24	v.6.25.5 (Build: 6.25.186)	10
24.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	10
24.1.1	ユーザー生産性要約レポート	10
24.1.2	複数の Ekran サーバーによる 1 つの SQL Server データベースの利用	10
24.1.3	Ekran サーバーの Windows Server 2019 Core へのインストール	10
24.1.4	macOS への Ekran クライアントの大規模展開	10
24.1.5	記録セッションの再生権限	10
25	v.6.25.1 (Build: 6.25.53)	11
25.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	11
25.1.1	macOS クライアント	11
25.1.2	Linux クライアントインストール用 INI ファイル	11
25.1.3	シングルサインオンによる管理ツールログイン時の ADFS 使用	11
26	v.6.24.1 (Build: 6.24.13)	11
26.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	11
26.1.1	サブスクリプションライセンス	11
26.1.2	アクセス請求ページ	11
26.1.3	Ekran サーバーインストール時の SQL Server 接続設定に Windows ユーザーを使用	11
27	v.6.21.1 (Build: 6.21.7)	12
27.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	12
27.1.1	Linux 記録セッションの日付での分割	12
28	v.6.20.1 (Build: 6.20.9)	12
28.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	12
28.1.1	エクスポートセッションの正当性チェックの改良	12
28.1.2	管理ツールのトルコ語対応	12
29	v.6.18.4 (Build: 6.18.238)	12

29.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	12
29.1.1	OneLogin を使用した管理ツールへのシングルサインオン	12
29.1.2	MS SQL Server 可用性グループのサポート	12
29.1.3	アーカイブのパフォーマンス改善	12
29.1.4	ヘルスマonitoring ページのスクロール対応	13
30	v.6.17.1 (Build: 6.17.16)	13
30.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	13
30.1.1	Windows クライアントの MSI ファイルによるインストール	13
30.1.2	Linux の CUI セッションと GUI セッションのフィルタリング	13
31	v.6.16.1 (Build: 6.16.91)	13
31.1	エンタープライズ版	13
31.1.1	踏み台でのパスワード代行入力のパスワードローテーション	13
31.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	13
31.2.1	Microsoft Azure SQL database のサポート	13
31.2.2	複数 NIC 環境での使用 IP アドレスの改善	13
31.2.3	ディスク使用量ダッシュボードの改善	14
32	v.6.15.3 (Build: 6.15.219)	14
32.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	14
32.1.1	レポートの種類にユーザー生産性レポートを追加	14
32.2	その他の変更	14
33	v.6.15.1 (Build: 6.15.129)	14
33.1	エンタープライズ版	14
33.1.1	フェールオーバークラスターによる高可用性	14
33.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	14
33.2.1	ヘルスマonitoring 機能のスタンダード版への開放	14
33.2.2	画像データ用ディスクの監視	14
34	v.6.14.4 (Build: 6.14.106)	15
34.1	エンタープライズ版	15
34.1.1	踏み台でのパスワード代行入力機能の接続ポート変更への対応	15
34.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	15
34.2.1	Ekran 管理ツールへの同時ログインの制御	15
34.2.2	記録セッションの記録時間でのフィルター	15
34.2.3	ユーザー管理ページの改良	15
34.2.4	SSH 記録セッション再生解像度の改善	15
35	v.6.13.1 (Build: 6.13.169)	15
35.1	エンタープライズ版	15

35.1.1	踏み台でのパスワード代行入力がされたセッションのハイライト表示 ...	15
35.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	16
35.2.1	記録対象 Windows での記録中アイコンの表示	16
35.2.2	Amazon Linux WorkSpaces への対応	16
36	v.6.8.1 (Build: 6.8.168)	16
36.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	16
36.1.1	スクリーンショット転送方法の調整	16
36.1.2	クライアントライセンス改良	16
37	v.6.7.1 (Build: 6.7.22)	16
37.1	エンタープライズ版	16
37.1.1	踏み台パスワード管理機能の改善	16
37.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	16
37.2.1	アラート時のメッセージカスタマイズ	16
38	v.6.6.1 (Build: 6.6.243)	16
38.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	17
38.1.1	X Window System 記録時のアラート生成	17
38.1.2	セッション一覧ページ UX/UI 改善	17
38.1.3	ライブ再生のパフォーマンス改善	17
39	v.6.5.7 (Build: 6.5.770)	17
39.1	エンタープライズ版	17
39.1.1	HA モードの PostgreSQL サポート	17
40	v.6.5.5 (Build: 6.5.733)	17
40.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	17
40.1.1	データベース変換ツール	17
41	v.6.5.4 (Build: 6.5.702)	17
41.1	エンタープライズ版	17
41.1.1	テナントモードのテナント管理者として AD ユーザーグループを指定可能 17	
41.1.2	踏み台のパスワード管理で AD ユーザーグループを使用可能	18
41.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	18
41.2.1	Linux クライアントのパフォーマンス改善	18
42	v.6.5.3 (Build: 6.5.564)	18
42.1	エンタープライズ版	18
42.1.1	チケットングシステム連携の強化	18
43	v.6.5.2 (Build: 6.5.483)	18
43.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	18

43.1.1	X Window System の操作記録 (ベータ版)	18
44	v.6.5.1 (Build: 6.5.416)	18
44.1	エンタープライズ版.....	19
44.1.1	ワンタイムパスワードの個別承認なしでの自動発行.....	19
44.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	19
44.2.1	クライアント動作ログの出力レベルの指定	19
45	v.6.5 (Build: 6.5.291).....	19
45.1	エンタープライズ版.....	19
45.1.1	アーカイブ・クリーンアップ機能のクライアント別設定	19
45.1.2	ジャンプサーバー経由のアクセス先アカウントのパスワード管理 (ベータ版) 19	
45.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	19
45.2.1	オフラインキャッシュの無効化	19
45.2.2	Linux クライアントのオフラインキャッシュの保護	20
46	v.6.4.3 (Build: 6.4.331)	20
46.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	20
46.1.1	クライアントインストール用 INI ファイルの暗号化	20
47	v.6.4.2 (Build: 6.4.254)	20
47.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	20
47.1.1	Ekran 用データベースへの接続パスワードの変更と、画像ファイル保存先変更を行えるツールの同梱.....	20
47.1.2	Ekran ユーザー用パスワードのポリシー強化 : 8 文字以上、英字・数字・記号の使用 20	
48	v.6.4.1 (Build: 6.4.207)	20
48.1	エンタープライズ版.....	20
48.1.1	音声録音	20
48.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	21
48.2.1	記録有効無効のユーザー別設定で AD ユーザーグループの指定可能	21
48.2.2	レポートタイプの追加 : ジャンプサーバーへの接続に関するレポート ...	21
49	v.6.4 (Build: 6.4.122).....	21
49.1	エンタープライズ版.....	21
49.1.1	ユーザー行動分析 (ベータ版) : 現状、通常と異なる時間帯のログイン・ログアウト時刻の監視のみ	21
49.1.2	SWIFT ユーザー名への対応	21
49.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	21
49.2.1	Linux クライアントでの 2 要素認証 (ソフトウェアトークン認証)	21

49.2.2	VDI 対応の強化：シャットダウン時のライセンス自動解放.....	21
49.2.3	クライアントログファイルの管理ツールからの収集.....	22
50	v.6.3.4 (Build: 6.3.55)	22
50.1	エンタープライズ版.....	22
50.1.1	テナントへの Linux クライアントの追加が可能.....	22
50.1.2	USB デバイス使用のリアルタイム手動承認	22
51	v.6.3.3 (Build: 6.3.36)	22
51.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	22
51.1.1	Linux クライアントでのログインのリアルタイム手動承認対応	22
51.2	エンタープライズ版.....	22
51.2.1	ログインのリアルタイム手動承認を必要としない時間帯の設定が可能 ...	22
52	v.6.3.2 (Build: 6.3.33)	23
52.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	23
52.1.1	セッション一覧ページに表示中の一覧の CSV エクスポート.....	23
52.2	エンタープライズ版.....	23
52.2.1	Ekran の動作ログの Windows イベントログへの出力.....	23
52.2.2	SIEM へのイベントの送信.....	23
53	v.6.2.3 (Build: 6.2.40)	23
53.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	23
53.1.1	X Window System の記録（ベータ版）：現状 10 秒に 1 回の定期取得.....	23
54	v.6.2 (Build: 6.2.6).....	23
54.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	23
54.1.1	Ekran データベースの PostgreSQL 対応.....	23
54.1.2	レポートタイプの追加：時間外のユーザーログイン.....	24
54.1.3	Linux クライアントでの記録有効無効のユーザー別設定.....	24
54.1.4	Linux クライアントのオフラインキャッシュ容量を指定可能.....	24
54.1.5	レポートの改良：セッション一覧レポートでユーザーコメントも出力 ...	24
54.1.6	サンプルアラートルールのアップデート	24
54.1.7	レポート作成ページの構成変更	24
54.1.8	Putty 使用時の Ubuntu ターミナルの再現画面の改良.....	24
54.1.9	サポート期限終了の事前通知	24
54.2	エンタープライズ版.....	24
54.2.1	ServiceNow チケットシステムへの対応.....	24
54.2.2	メンテナンス時データベース一時切り離し	25
55	v.6.1 (Build: 6.1.155).....	25
55.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	25

55.1.1	管理ツールのインターフェース改良	25
55.1.2	Linux クライアントの限定的保護機能	25
55.1.3	VMware Horizon でのリモート IP の検出	25
55.1.4	IPv6 リモートアドレスの表示等 IPv6 対応強化	25
55.1.5	アラートタイプの追加：クリップボードテキストでアラート生成	25
55.2	エンタープライズ版	25
55.2.1	Ekran 動作状況のモニター	25
55.2.2	Ekran サーバーHW リソースのモニター	26
55.2.3	指定期間以上接続のないクライアントの検出・通知	26
55.2.4	記録有効無効のリモート IP アドレス別設定	26
55.2.5	ログインのリアルタイム手動承認を必要とするコンピューターのグループ 指定可能	26
55.2.6	HA モードの改良：独立ライセンスサーバーの廃止	26
56	v.6.0 (Build: 6.0.592)	26
56.1.1	マルチテナントモードの追加 (Windows クライアントのみ)	26
56.1.2	キーストローク有効無効のアプリケーション別設定	26
56.1.3	レポートにカスタムロゴを挿入可能	27

[訳注:

- 本ドキュメントは Ekran System 社が発行したリリースノートの日本語訳です。
 - 原文で重複している情報を日本語訳では省略していることがあります。
 - リリースから間もない新機能は、時に正しく動作しない可能性があることにご注意ください。
-]

1 v.6.34.5 (Build: 6.34.126)

1.1 修正

1.1.1 ジャンプサーバーパスワード代行入力機能の接続失敗

ジャンプサーバーにおけるパスワード代行入力機能(PAM)で、シークレット(ルール)の受信時に一時的に接続・パスワード入力が行えなく問題が修正されました。

2 v.6.34.3 (Build: 6.34.57)

2.1 改善

2.1.1 アラート通知時の ID・キーワード通知(Windows)

Windows 用アラートの E メール通知と、アラートビューアで表示される情報に、アラート ID やトリガーキーワードの情報が追加されました。

3 v.6.34.2 (Build: 6.34.57)

3.1 修正

3.1.1 セッション一覧の期間によるソート・フィルター

セッション一覧の記録期間によるソート・フィルターの問題が修正されました。

4 v.6.34.1 (Build: 6.34.53)

4.1 新機能

4.1.1 Linux クライアントにおける二次認証の除外ユーザー

指定した Linux ログインユーザーを二次認証の対象から除外する機能が追加されました。

4.1.2 シークレットのローテーション(PAM)

SSH シークレットで SSH キーローテーションが追加されました。
全シークレットのパスワードローテーションでトランザクション完全性チェックの安定性が向上しました。

4.1.3 macOS アラート生成時の監視対象ユーザーへのアクション

macOS にてアラート生成時に監視対象ユーザーに警告メッセージを表示する機能が追加されました。

5 v.6.33.2 (Build: 6.33.122)

5.1 改善

5.1.1 アプリケーションサーバー(Ekran サーバー)の実行権限

非管理者アカウントでの実行が可能になりました。

5.1.2 パスワード管理ページにおける検索

検索機能が改善されました。

5.1.3 データベースのクリーンアップの安定性

フォルダに画像ファイルを保存している場合の安定性が向上しました。

6 v.6.33.1 (Build: 6.33.92)

6.1 新機能

6.1.1 Ekran System Data Connector v.1.0

Ekran の記録済みデータ(テキスト情報)を取得する API 用のコンポーネントがリリースされました。
<https://www.ekransystem.com/sites/default/files/ekransystem/EkranSystem-DataConnector.zip>

からダウンロードできます。

6.1.2 セッション記録時の IP フィルタリング(ローカル)

ローカルセッションを記録しないオプションが追加されました。

6.2 改善

6.2.1 Single-Sign On (SSO)の HTTPS 対応

HTTPS リクエストのサポートが追加されました。

6.2.2 音声記録の安定性

安定性が向上しました。

6.2.3 画像ファイルのクリーンアップの安定性

古い記録データの画像ファイルのクリーンアップの安定性が向上しました。

6.2.4 管理ツールのログ(監査ログ)

監査ログに名前が変更されました。

7 v.6.32.1 (Build: 6.32.34)

7.1 新機能

7.1.1 macOS の URL アラート

macOS 上の Web ブラウザーから収集した URL でアラートを生成できるようになりました。

7.2 改善

7.2.1 セッションプレイヤーの日時列

セッションプレイヤーの操作時刻の列から冗長であった日付の表示が取り除かれました。

7.2.2 アーカイブセッションの閲覧権限

アーカイブ済みセッションの再生操作も記録の閲覧権限によって制御されるようになりました。

8 v.6.31.2 (Build: 6.31.60)

8.1 改善

8.1.1 macOS クライアントの大規模展開

VMware Workspace ONE の Mobileconfig ファイルのサポートが改善されました。

9 v.6.31.1 (Build: 6.31.28)

9.1 新機能

9.1.1 macOS での Web ブラウザー URL 記録

Chrome と Safari での URL 記録が可能になりました。

9.2 改善

9.2.1 Ekran 管理ツールのクライアント管理ページの改善

1000 クライアント規模の一斉設定変更(ライセンス割り当て等)が改善されました。
クライアントグループのフィルター表示と、グループ内クライアント数の表示が改善されました。

9.2.2 SIEM 連携機能のログインメッセージ出力

CEF/LEEF ログにユーザーのログインメッセージが出力されるようになりました。

9.2.3 レポートのスケジュール作成機能の月末設定

月の最後の日に作成のオプションが追加されました。

9.2.4 ヘルスマonitoring機能のメール通知除外設定

特定ドメインのアドレスに対してのみ E メール通知を送信するオプションが追加されました。

9.2.5 パスワード管理機能のソートの改善

ソート機能が改善されました。

9.3 修正

9.3.1 ログ画像のカスタマイズの修正

ログ画像のカスタマイズが反映されないことがある問題が修正されました。

9.3.2 レポートのスケジュール作成ページにおける検索の修正

レポートのスケジュール作成ページにおける検索の問題が修正されました。

10 v.6.30.2 (Build: 6.30.51)

10.1 修正

10.1.1 USB アラートのブロックアクション

Windows 10 1909 以上の Windows への USB ルールのブロックアクションの割り当ての問題が修正されました。

11 v.6.30.1 (Build: 6.30.42)

11.1 新機能と改善

11.1.1 シークレット(PAM)の使用請求

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、登録済みログインユーザー名・パスワード(シークレット)の代行入力を試みる際に、指定した時間に限って管理者の許可を得ることでシークレットを使用可能とする機能が追加されました。

11.1.2 管理ツールのクライアント管理ページの改善

- クライアント管理ページのユーザーインターフェースが再設計され、使いやすくなり、またいくつかの機能が追加されました。
- パフォーマンスが改善されました。
- 複数クライアントの同時変更(ライセンスの割り当て等)が可能になりました。
- 各クライアントで記録された最後のユーザー操作の日付が表示されるようになりました。
- クライアントグループに所属するクライアントの数が表示されるようになりました。
- 各クライアントの記録セッションへのアクセスリンクが追加されました。

11.1.3 二要素認証タブにおけるソート

二要素認証ルール一覧のソートが可能になりました

11.2 修正

11.2.1 ログイン時の追加ウィンドウの操作記録

Ekran クライアントが表示するログイン時の追加ウィンドウでのユーザー操作が記録されないことがある問題が修正されました。

11.2.2 SIEM ログのローテート

SIEM 連携機能で作成されるログファイルが正しくローテートされないことがある問題が修正されました。

11.2.3 PAM 接続マネージャー内のシークレット表示

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、エージェントの PAM マネージャーウィンドウ内でシークレットが Refresh ボタンをクリックするまで表示されないことがある問題が修正されました。

12 v.6.29.1 (Build: 6.29.58)

12.1 新機能と改善

12.1.1 X11 用ライセンスの追加

Linux 上で Linux GUI (X11) のユーザー操作を記録するとき、Workstation ライセンスが使用可能になりました。このバージョンからは Linux GUI, macOS, Windows のすべての OS で共通の Workstation ライセンスプールから各クライアントにライセンスを割り当てることができます。

Workstation ライセンスが割り当てられた Linux では同時に1つの GUI セッションのみが記録可能であり、また CUI (SSH) セッションの記録はできません。

12.2 [Enterprise] ロードバランシング対応準備

将来のサードパーティ製ロードバランシングソフトウェアへの対応を見越した機能が追加されました。

Ekran サーバーを既存の Ekran サーバーに紐づけて追加インストールできるようになりました。

複数の Ekran サーバーが単一のライセンスプールを参照できるようになりました。

12.3 既知の問題

12.3.1 USB アラートのブロックアクション

Windows 10 1909 以上の Windows への USB ルールのブロックアクションの割り当てに問題が発生しています。

13 v.6.28.1 (Build: 6.28.84)

13.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

13.1.1 管理ツールの日本語翻訳更新

日本語翻訳が更新されました。

13.1.2 記録セッションのクリーンアップとアーカイブのパフォーマンス

パフォーマンスが改善されました。

13.1.3 macOS クライアントの大規模展開

macOS Big Sur への Ekran クライアントの同時展開に対応しました。

13.2 エンタープライズ版限定

13.2.1 [Enterprise] マルチテナント機能の macOS 対応

機能が追加されました。

13.2.2 [Enterprise] シークレット(PAM)の使用請求

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、登録済みログインユーザー名・パスワード(シークレット)の代行入力を試みる際に、管理者の許可を得たときだけ使用可能とする機能が追加されました。

13.2.3 [Enterprise] ServiceNow 連携機能の改善

チケット番号の検索先格納テーブルを指定可能になりました。
11 文字以上のチケット番号に対応しました。

14 v.6.27.6 (Build: 6.27.221)

14.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

14.1.1 Linux クライアントのクリーンアップ時のパフォーマンス

パフォーマンスが改善されました。

14.1.2 マスターパネル

複数の独立した Ekran サーバーのそれぞれの記録セッションを単一のインターフェースから再生できるようになりました。

15 v.6.27.5 (Build: 6.27.197)

15.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

15.1.1 ネットワーク帯域消費の改善

パフォーマンスが改善されました。

16 v.6.27.4 (Build: 6.27.157)

16.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

16.1.1 管理ツールのパフォーマンス改善

パフォーマンスが改善されました。

17 v.6.27.3 (Build: 6.27.133)

17.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

17.1.1 ゴールデンイメージモードのパフォーマンス改善

ゴールデンイメージ(マスターイメージ)のライセンス割り当て・非割り当て機能のパフォーマンスが改善されました。

17.1.2 その他の機能の改善

Windows マシンキーフォルダ保存と内蔵 API セッションビューアが改善されました。

18 v.6.27.2 (Build: 6.27.94)

18.1 エンタープライズ版限定

18.1.1 [Enterprise] アーカイブ済みセッションページの修正

アーカイブ済みセッションページ(アーカイブ DB の閲覧タブ)のフィルター機能の動作が修正されました。

19 v.6.27.1 (Build: 6.27.89)

19.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

19.1.1 Ekran 管理ツールのクライアント管理ページの改善

クライアント一覧に設定タイプ(クライアントグループからの継承)の列が追加されました
クライアントインストール時に使用される .ini ファイルの作成ページが改善されました。

19.1.2 二次認証ユーザーのログインアラートの E メール通知

機能が追加されました。

19.1.3 ブロック済みユーザーのログインメッセージのカスタマイズ

ブロック済みユーザーがログインを試みた際にユーザーに表示されるメッセージの内容を変更できるようになりました。

20 v.6.26.3 (Build: 6.26.230)

20.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

20.1.1 Linux クライアントのインストール用パラメーターファイル

Linux クライアントをインストールする際に使用するパラメーター記載ファイルが改良されました。

21 v.6.26.2 (Build: 6.26.194)

21.1 エンタープライズ版限定

21.1.1 [Enterprise] Active Directory アカウントシークレット(PAM)の修正

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、リモートデスクトップクライアントによる Windows Active Directory のログインユーザー名、パスワードの入力の動作の問題が修正されました。

22 v.6.26.1 (Build: 6.26.179)

22.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

22.1.1 管理ツールのログの改ざん検知

Ekran 管理ツールにおける管理者の操作を記録したログについて、改ざんの検出能力が向上しました。

22.1.2 レポート生成機能のパフォーマンス改善

レポート生成のパフォーマンスが改善されました。

Ekran サーバー構成ファイルで上限を設定することで、レポート生成時のデータベースの高負荷状態を抑制できるようになりました。

22.1.3 Windows Server 2008 R2、MS SQL Server 2008 サポート終了

Ekran サーバー、Ekran 管理ツールの Windows Server 2008 R2 環境、MS SQL Server 2008 環境へのインストールがサポート外となりました。これら環境のサポート終了により Ekran の安定性とパフォーマンス改善のための改良が可能になります。

22.2 エンタープライズ版限定

22.2.1 [Enterprise] Web シークレット(PAM)機能

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、Chrome による Web ページのログインユーザー名、パスワードの入力が可能になりました。

22.2.2 [Enterprise] SQL シークレット(PAM)機能

ターミナルサーバー用 Ekran エージェントのパスワード代行入力機能で、MS SQL Server Management Studio v.18 以上による接続時のログインユーザー名、パスワードの入力が可能になりました。

23 v.6.25.6 (Build: 6.25.197)

23.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

23.1.1 ユーザー操作の定期記録

Ekran のユーザー操作記録は、ユーザーのマウスクリックや、キー入力に連動します。これ以外に定期記録を併用可能です。定期記録において、従来は 30 秒に 1 回の記録が最頻設定でしたが、1 秒に 1 回の記録が可能になりました。[訳注: macOS では 1 秒に 1 回を設定しても、実際には数秒に 1 回の頻度の動作となることがあります。]

24 v.6.25.5 (Build: 6.25.186)

24.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

24.1.1 ユーザー生産性要約レポート

各ユーザーについて、ユーザー操作のあった時間と操作のなかった時間、よく使われたアプリケーション、よく閲覧された URL を出力するレポートが追加されました。

24.1.2 複数の Ekran サーバーによる 1 つの SQL Server データベースの利用

1 つの SQL Server データベースインスタンス内に、別々の環境の Ekran サーバーで記録されたデータを格納できるようになりました。

24.1.3 Ekran サーバーの Windows Server 2019 Core へのインストール

Ekran(アプリケーション)サーバーと、Ekran 管理ツールを、Windows Server 2019 Core が動作するマシンにインストールできるようになりました。

24.1.4 macOS への Ekran クライアントの大規模展開

Jamf Pro または VMWare Workspace ONE UEM を使用して、Ekran クライアントを同時に複数の macOS にインストールできるようになりました。

24.1.5 記録セッションの再生権限

Ekran 管理ツールのユーザーに対して、記録セッションの再生権限が設定されました。再生権限

のないユーザーは Ekran 管理ツールのセッションプレイヤーでセッションを再生できません。

25 v.6.25.1 (Build: 6.25.53)

25.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

25.1.1 macOS クライアント

macOS コンピューター上のユーザー操作の記録が可能になりました。macOS クライアントのインストーラーは簡単に使用できます。

25.1.2 Linux クライアントインストール用 INI ファイル

Linux クライアントインストール用に INI ファイルの作成が可能になりました。これにより Linux クライアントの記録パラメーターをデフォルトから変更した状態でインストールできます。

25.1.3 シングルサインオンによる管理ツールログイン時の ADFS 使用

Ekran 管理ツールのログイン時のシングルサインオン設定で Active Directory Federation Service (ADFS) が使用可能になりました。

26 v.6.24.1 (Build: 6.24.13)

26.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

26.1.1 サブスクリプションライセンス

これまでの永久ライセンスキーに加え、使用期限を設けたサブスクリプションキーが使用可能になりました。エンタープライズ版の追加機能や同時 50 セッション以上の記録を行うには、エンタープライズサブスクリプションキーが使用できます。

26.1.2 アクセス請求ページ

Ekran 管理ツールにおいて、ワンタイムパスワードの請求、手動認証の請求、USB 大容量記憶デバイスの使用請求の管理が 1 ページにまとめられました。これにより請求の処理と追跡がシンプルになりました。請求を処理できる管理者を指定すると、指定された管理者はメール通知内のリンクやアクセス請求ページ内のリンクを使って請求を処理できます。

26.1.3 Ekran サーバーインストール時の SQL Server 接続設定に Windows ユーザーを使用

Ekran サーバーインストール時に、設定や記録の保存先に SQL Server を指定する際、SQL

Server 認証だけでなく、Windows 認証も選択できるようになりました。

27 v.6.21.1 (Build: 6.21.7)

27.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

27.1.1 Linux 記録セッションの日付での分割

複数日にまたがって Linux を操作している場合、記録セッションが深夜 0 時に一度終了するようになりました。記録セッションが終了(状態がライブから完了に変化)すると自動的に新しい記録セッションが開始します。

28 v.6.20.1 (Build: 6.20.9)

28.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

28.1.1 エクスポートセッションの正当性チェックの改良

このバージョンでは持ち出し用のエクスポートセッションプレイヤーがアップデートされました。エクスポートセッションの正当性をチェックする際に、Ekran 管理ツールに表示されるハッシュ値を使用できるようになりました。

28.1.2 管理ツールのトルコ語対応

Ekran 管理ツールの表示言語としてトルコ語を選択できるようになりました。

29 v.6.18.4 (Build: 6.18.238)

29.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

29.1.1 OneLogin を使用した管理ツールへのシングルサインオン

SAML を使用して OneLogin と連携することで、Ekran 管理ツールへのシングルサインオンが可能になりました。連携設定を行うと、ユーザーは OneLogin のシングルサインオンで Ekran 管理ツールにログインできます。

29.1.2 MS SQL Server 可用性グループのサポート

Ekran サーバーの設定と記録データ保存先の MS SQL Server の構成として、可用性グループがサポート対象となりました。

29.1.3 アーカイブのパフォーマンス改善

記録した画像データを画像ファイルとして保存しているときのアーカイブのパフォーマンスが改善

されました。

29.1.4 ヘルスモニタリングページのスクロール対応

Ekran 管理ツール上で Ekran コンポーネントの状態を表示するヘルスモニタリングページにおいて、ページスクロールで情報を閲覧できるようになりました。

30 v.6.17.1 (Build: 6.17.16)

30.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

30.1.1 Windows クライアントの MSI ファイルによるインストール

Windows クライアントのインストーラーとして従来の EXE ファイル版のほかに MSI ファイル版が使用可能になりました。ドメイン環境で Ekran クライアントのグループポリシーを使用したネットワーク展開ができます。

30.1.2 Linux の CUI セッションと GUI セッションのフィルタリング

Ekran 管理ツールのセッションプレイヤー(セッションリスト)ページにて、SSH 等のターミナルセッションと X Windows System の GUI セッションを区別できるようになりました。フィルター条件として SSH セッションと X セッションの選択が可能です。

31 v.6.16.1 (Build: 6.16.91)

31.1 エンタープライズ版

31.1.1 踏み台でのパスワード代行入力のパスワードローテーション

踏み台のパスワード代行入力機能で Active Directory アカウントと Windows ローカルアカウントのシークレットについては、パスワードを変更できるようになりました。パスワードローテーションの頻度の指定が可能です。パスワードの漏洩が疑われるときに即時に変更することも可能です。

31.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

31.2.1 Microsoft Azure SQL database のサポート

Ekran の設定と記録データの保存先として、Microsoft Azure SQL database が使用可能になりました。

31.2.2 複数 NIC 環境での使用 IP アドレスの改善

Ekran クライアントがインストールされたマシンに複数の Network Interface Card があるとき、クライアントの IP アドレスが適切に通知されるようになりました。

31.2.3 ディスク使用量ダッシュボードの改善

Ekran 管理ツールのディスク使用量ダッシュボードで、データベース用ディスクと、画像データ用ディスクの状況が動的に更新されるようになりました。

32 v.6.15.3 (Build: 6.15.219)

32.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

32.1.1 レポートの種類にユーザー生産性レポートを追加

Ekranによるユーザー操作の記録期間を1時間区切りの単位にわけて、ユーザーが無操作であった時間の割合を表示するレポートが追加されました。これによりユーザーの操作状況を把握できます。

32.2 その他の変更

このバージョンからは、Ekran サーバー、Ekran 管理ツールを動作させるための .NET Framework のバージョンが 4.8 に変更になりました。

33 v.6.15.1 (Build: 6.15.129)

33.1 エンタープライズ版

33.1.1 フェールオーバークラスターによる高可用性

Ekran サーバーの高可用性モードでフェールオーバークラスターが使用可能になりました。高可用性モード内の1台のEkranサーバーがダウンすると別のEkranサーバーが起動します。

33.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

33.2.1 ヘルスモニタリング機能のスタンダード版への開放

Ekran コンポーネントの動作状態をモニターするヘルスマニタリング機能が、エンタープライズ版だけでなくスタンダード版でも利用可能になりました。ディスク使用量や各コンポーネントの問題を、Ekran 管理ツール上またはメール通知で知ることができます。

33.2.2 画像データ用ディスクの監視

画像データ保存用ディスクの状況をモニターできるようになりました。何らかの理由で画像保存用フォルダが利用不能になると、通知を受け取ることができます。Ekran サーバーがデータを保存できない状態では、Ekran クライアントが記録データをローカルにキャッシュし、後で Ekran サーバーに送信します。

34 v.6.14.4 (Build: 6.14.106)

34.1 エンタープライズ版

34.1.1 踏み台でのパスワード代行入力機能の接続ポート変更への対応

Windows Server 踏み台でのパスワード代行入力機能を使うためのシークレットの設定の際に、踏み台の先のコンピューターへの接続に用いるポート番号を指定できるようになりました (Windows への接続では RDP、Linux への接続では SSH)。

踏み台上の接続マネージャーはシークレットの設定にしたがって、ユーザー名とパスワードを代行入力し、指定されたポートを使用して接続を確立します。

34.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

34.2.1 Ekran 管理ツールへの同時ログインの制御

同一ユーザー名での Ekran 管理ツールへの同時ログインを許可するかしないかを設定可能になりました。

34.2.2 記録セッションの記録時間でのフィルター

記録セッションをこれまでのユーザー名、開始時間等でのフィルタリングに加えて、記録時間(長さ)も指定してフィルターできるようになりました。

34.2.3 ユーザー管理ページの改良

管理ツールのユーザー管理ページ UI が最適化されました。

34.2.4 SSH 記録セッション再生解像度の改善

セッションプレイヤーでの SSH 記録セッション再生時の解像度が改善されました。

35 v.6.13.1 (Build: 6.13.169)

35.1 エンタープライズ版

35.1.1 踏み台でのパスワード代行入力がされたセッションのハイライト表示

セッション一覧にて、記録内の操作に踏み台でのパスワード代行入力が含まれるセッションを素早く見つけることが可能になりました。またセッション内の当該操作は青くハイライト表示されず。

35.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

35.2.1 記録対象 Windows での記録中アイコンの表示

ユーザーが記録対象 Windows で操作を行っているとき、ユーザーに現在記録が行われていることをデスクトップ上のアイコン表示によって知らせることができます。

35.2.2 Amazon Linux WorkSpaces への対応

Ekran Linux 用クライアントによる Amazon Linux Workspaces の記録が改善されました。

36 v.6.8.1 (Build: 6.8.168)

36.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

36.1.1 スクリーンショット転送方法の調整

Ekran クライアントが Ekran サーバーにスクリーンショットを転送する際、即時送信をやめて指定秒数に 1 回送信したり、スクリーンショットの圧縮率を高めたりすることで、データ転送量を調整できるようにしました。

36.1.2 クライアントライセンス改良

クライアントライセンスの取り扱いを改良しました。

37 v.6.7.1 (Build: 6.7.22)

37.1 エンタープライズ版

37.1.1 踏み台パスワード管理機能の改善

踏み台上の Ekran クライアントが踏み台の先のユーザー名・パスワードを代行入力する機能で、どのパスワードを利用できるかを、踏み台ログイン時の Ekran 二次認証の Ekran ユーザーグループごとに設定できるようになりました。

37.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

37.2.1 アラート時のメッセージカスタマイズ

アラート生成時、ユーザーに表示するメッセージのカスタマイズ性が向上しました。

38 v.6.6.1 (Build: 6.6.243)

38.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

38.1.1 X Window System 記録時のアラート生成

X Window System 上での GUI 操作の記録時に、以下のようなアラートを生成可能になりました。

- 端末(ウィンドウ)で特定のコマンド・パラメーターを入力。
- 潜在的に不正、または業務と無関係のアプリケーションの起動。
- 機密データを含むドキュメントを開く。
- 特定ユーザーのマシン使用開始。

38.1.2 セッション一覧ページ UX/UI 改善

Web 管理ツールの記録セッション一覧ページの表示が改善されました。

38.1.3 ライブ再生のパフォーマンス改善

記録中のセッションをセッションプレイヤーでリアルタイム再生したときのパフォーマンスが改善されました。

39 v.6.5.7 (Build: 6.5.770)

39.1 エンタープライズ版

39.1.1 HA モードの PostgreSQL サポート

Ekran サーバーを高可用性モードでセットアップ・運用する場合、これまでの MS SQL Server に加えて PostgreSQL も使用可能になりました。

40 v.6.5.5 (Build: 6.5.733)

40.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

40.1.1 データベース変換ツール

Ekran の Firebird サポート終了に伴い、これまで Firebird データベースに記録してきたデータを PostgreSQL データベースに変換するツールを提供します。

41 v.6.5.4 (Build: 6.5.702)

41.1 エンタープライズ版

41.1.1 テナントモードのテナント管理者として AD ユーザーグループを指定可能

従来はテナント作成時にテナント管理者としてユーザーアカウントを一つずつ追加する必要があり

ました。新バージョンでは Active Directory ユーザーグループをテナント管理者として追加することが可能になりました。

41.1.2 踏み台のパスワード管理で AD ユーザーグループを使用可能

踏み台からの接続先のパスワード管理機能で、シークレットとして Active Directory のユーザーグループが使用可能になりました。

41.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

41.2.1 Linux クライアントのパフォーマンス改善

42 v.6.5.3 (Build: 6.5.564)

42.1 エンタープライズ版

42.1.1 チケットシステム連携の強化

Ekran とチケットシステムを連携させる際に、Rest ベース HTTP アプリケーションの API ブリッジを使用可能になりました。

43 v.6.5.2 (Build: 6.5.483)

43.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

43.1.1 X Window System の操作記録(ベータ版)

X Window System での GUI 操作の記録時に以下のパラメーターを指定できます。

- イベントごとにスクリーンショットを生成する: ユーザー操作の記録頻度を指定できるようになりました。例えば、キーボードのキー入力やターミナルでのコマンド入力ですべてスクリーンショットを生成することができます。
- アクティブウィンドウのみ記録: デスクトップ全体ではなく、アクティブウィンドウのみのスクリーンショットを生成することが可能になりました。
- スクリーンショットを生成しない: スクリーンショットを生成せずに、時刻、ウィンドウタイトル、アプリケーション名、関数呼び出し、等のテキストデータ(メタデータ)のみを記録できるようになりました。この設定により Ekran クライアントから Ekran サーバーに送られるデータの量が削減されます。

44 v.6.5.1 (Build: 6.5.416)

44.1 エンタープライズ版

44.1.1 ワンタイムパスワードの個別承認なしでの自動発行

ワンタイムパスワードは通常 Ekran 管理者による個別承認によって発行されますが、指定した信頼できるユーザーについては個別承認なしに自動的に発行することが可能になりました。Ekran クライアントがインストールされ、ワンタイムパスワードが有効にされた Windows にログインする際、信頼済みユーザーがワンタイムパスワードの発行依頼ボタンをクリックすると、ワンタイムパスワードは Ekran 管理者の承認なしに直ちに発行され、ユーザーのメールアドレスに送信されます。

44.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

44.2.1 クライアント動作ログの出力レベルの指定

Ekran クライアントのデバッグ用動作ログで、どの重要度レベルのイベントを出力させるかを指定できるようになりました。

45 v.6.5 (Build: 6.5.291)

45.1 エンタープライズ版

45.1.1 アrchive・クリーンアップ機能のクライアント別設定

これまで Archive・クリーンアップの設定は全クライアントで共通の設定でしたが、このバージョンからは、クライアント別またはクライアントグループ別の設定ができるようになりました。例えば、クリーンアップ処理をするか Archive 処理をするかをクライアントによって変えたり、記録データの保持期間をクライアントグループによって変えたりすることができます。

45.1.2 ジャンプサーバー経由のアクセス先アカウントのパスワード管理(ベータ版)

ジャンプサーバー(踏み台)に Ekran クライアントをインストールし、この踏み台から別コンピューターにリモートログインして作業をする使用方法で、接続先の別コンピューターのアカウント名とパスワードを Ekran サーバーにセキュアに保管する機能が追加されました。踏み台にログインしたユーザーは Ekran クライアントが提示する接続先コンピューターを選択してリモートログインをします。どのユーザーがどの接続先へ接続できるかを制御でき、またユーザーに接続先のパスワードを知らせないでおくことができます。

45.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

45.2.1 オフラインキャッシュの無効化

Ekran クライアントの記録設定で Ekran サーバーとの通信切断時に記録データをローカルにキャッシュするオフラインキャッシュ機能を無効に設定することが可能になりました。

45.2.2 Linux クライアントのオフラインキャッシュの保護

46 v.6.4.3 (Build: 6.4.331)

46.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

46.1.1 クライアントインストール用 INI ファイルの暗号化

Ekran クライアントインストーラーの記録設定.ini ファイル作成時に、ファイルを暗号化する機能が追加されました。これにより.ini ファイルの改変が困難になります。

47 v.6.4.2 (Build: 6.4.254)

47.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

47.1.1 Ekran 用データベースへの接続パスワードの変更と、画像ファイル保存先変更を行えるツールの同梱

これまで、Ekran サーバーが Ekran 用データベースに接続するときのログインとパスワードは、Ekran サーバーのインストール時にしか指定できず、インストール後の変更ができませんでした。また、画像ファイルの保存先の変更はレジストリを編集する必要がありました。

このバージョンからはデータベース接続ログインとパスワード、また画像ファイルの保存先を指定できる GUI ツールが同梱され、これらの設定を変更できるようになりました。

47.1.2 Ekran ユーザー用パスワードのポリシー強化:8 文字以上、英字・数字・記号の使用

Ekran 管理ツールのユーザーを作成する際に設定するパスワードが次の条件を満たしているかチェックされるようになりました:8 文字以上であること、英字と数字と記号の 3 種類の文字が含まれること。(大文字と小文字を含むこともチェックされます)

48 v.6.4.1 (Build: 6.4.207)

48.1 エンタープライズ版

48.1.1 音声録音

画面の画像記録と、テキストデータの記録に加え、Windows 上の音声の入出力も記録ができるようになりました。音声はセッションプレイヤーで再生でき、持ち出し用プレイヤーへのエクスポートも可能です。

48.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

48.2.1 記録有効無効のユーザー別設定で AD ユーザーグループの指定可能

これまでは、記録の有効無効は OS ログインユーザー1 つずつを指定する必要がありましたが、このバージョンからは Active Directory ユーザーグループを使って指定できるようになりました。例えば、Domain Admins に属するユーザーの操作を記録し、それ以外のユーザーの操作は記録しない設定ができます。

48.2.2 レポートタイプの追加:ジャンプサーバーへの接続に関するレポート

ジャンプサーバー(踏み台)へのログインユーザーの数を集計するレポートが追加されました。

49 v.6.4 (Build: 6.4.122)

49.1 エンタープライズ版

49.1.1 ユーザー行動分析(ベータ版):現状、通常と異なる時間帯のログイン-ログアウト時刻の監視のみ

ユーザー行動分析機能が追加され、ユーザーベースの攻撃をより効果的に検知できるようになりました。ユーザー行動分析機能では、ユーザーの普段の操作をベースラインとし、普段と異なる操作やアカウントの不正利用を検知します。検知結果はセッションプレイヤーやレポートによって確認することができます。今後ユーザー行動分析に用いられる要素を追加していく予定です。

49.1.2 SWIFT ユーザー名への対応

SWIFT 環境における SWIFT ユーザー名の記録が可能になりました。SWIFT ネットワークへのログインに使用されたユーザー名は Ekran サーバーのログファイルで確認できます。

49.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

49.2.1 Linux クライアントでの 2 要素認証(ソフトウェアトークン認証)

これまで 2 要素認証(ソフトウェアトークン認証)は Windows クライアントでのみ使用できましたが、Linux クライアントでも使用できるようになりました。Ekran クライアントがインストールされ、2 要素認証が有効にされた Linux にログインするとき、ユーザーは通常のユーザー名とパスワードに加え、モバイルデバイスに表示される時間ベースのワンタイムパスワードを入力する必要があります。

49.2.2 VDI 対応の強化:シャットダウン時のライセンス自動解放

これまでは一時的にユーザー操作を記録したコンピューターのクライアントライセンスを解放するには、管理者が Ekran 管理ツールでライセンス開放を行う必要がありました。このバージョンから

はライセンスのシャットダウン時の自動解放を有効にすることで、使用のたびに初期化される VDI の使用終了時にライセンスが自動解放されます。

49.2.3 クライアントログファイルの管理ツールからの収集

これまでは Ekran クライアントが出力する動作ログファイルは各コンピューターにログインして回収する必要がありました。このバージョンからは Ekran 管理画面のログ取得ボタンをクリックすることで Ekran クライアントの動作ログを Ekran サーバー経由で取得できるようになりました。

50 v.6.3.4 (Build: 6.3.55)

50.1 エンタープライズ版

50.1.1 テナントへの Linux クライアントの追加が可能

これまではテナントモードでの各テナントには Windows クライアントを追加できましたが、このバージョンからは Linux クライアントも追加可能になりました。

50.1.2 USB デバイス使用のリアルタイム手動承認

Ekran によって USB デバイスの使用が禁止されている Windows にて、ユーザーが USB デバイスの使用許可を Ekran 管理者に送信し、許可の場合に一時的に使用禁止が解除される機能が追加されました。

51 v.6.3.3 (Build: 6.3.36)

51.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

51.1.1 Linux クライアントでのログインのリアルタイム手動承認対応

Ekran 管理者の承認が得られるまで、ユーザーのコンピューターへのログインを保留する機能は、これまでは Windows クライアントでのみ使用できましたが、このバージョンからは Linux クライアントにも対応しました。

51.2 エンタープライズ版

51.2.1 ログインのリアルタイム手動承認を必要としない時間帯の設定が可能

Ekran 管理者の承認が得られるまで、ユーザーのコンピューターへのログインを保留する機能で、ログインユーザーが管理者の承認を必要とする時間帯を指定する機能が追加されました。例えば、ユーザーは指定された勤務時間内は管理者の承認なしで直ちにコンピューターにログインでき、それ以外の時間では承認が得られるまでログインができないように設定できます。

52 v.6.3.2 (Build: 6.3.33)

52.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

52.1.1 セッション一覧ページに表示中の一覧の CSV エクスポート

Ekran 管理ツールのセッションプレイヤーページに表示されているセッションの一覧を CSV ファイルにエクスポートできるようになりました。各セッションのユーザー名、記録開始時刻等を使用して、外部ツールでセッションの分析を行えます。

52.2 エンタープライズ版

52.2.1 Ekran の動作ログの Windows イベントログへの出力

Ekran サーバーや Ekran クライアントのデバッグ目的でログファイルに出力されるエラー、情報、警告イベントを、Windows イベントにも出力できるようになりました。これにより Ekran の動作状況をモニターできます。

52.2.2 SIEM へのイベントの送信

これまで、記録したテキストデータは CEF/LEEF 形式にしてファイルに保存することができました。このバージョンからは記録したテキストデータを Splunk、ArcSight、QRadar といった SIEM システムのサーバーに送信することが可能になりました。

53 v.6.2.3 (Build: 6.2.40)

53.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

53.1.1 X Window System の記録(ベータ版):現状 10 秒に 1 回の定期取得

これまで Linux 用 Ekran クライアントは端末上のテキストコマンドと出力の記録のみに対応していましたが、このバージョンからは X Window System の GUI 記録にも対応しました。X Window System から開始された端末エミュレーターのテキストセッションも記録できます。

54 v.6.2 (Build: 6.2.6)

54.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

54.1.1 Ekran データベースの PostgreSQL 対応

データの保管用データベースとしてこれまでの Microsoft SQL Server に加えて、PostgreSQL も使用できるようになりました。なお、Ekran の組み込み Firebird は将来廃止される予定です。

54.1.2 レポートタイプの追加:時間外のユーザーログイン

勤務時間外にユーザーがコンピューター操作を行っていた時間をレポートする機能が追加されました。

54.1.3 Linux クライアントでの記録有効無効のユーザー別設定

これまでユーザーによって操作を記録するかしないかの設定は Windows クライアントのみで使用できましたが、このバージョンからは Linux クライアントでも設定可能になりました。

54.1.4 Linux クライアントのオフラインキャッシュ容量を指定可能

Ekran サーバーとの接続切断時に Ekran クライアントがローカルにキャッシュするデータの容量はこれまで Windows クライアントでのみ指定可能でした。このバージョンからは Linux クライアントのキャッシュ容量も指定できます。

54.1.5 レポートの改良:セッション一覧レポートでユーザーコメントも出力

セッション一覧レポートの項目としてユーザーがログイン時に書き込んだコメントも出力されるようになりました。

54.1.6 サンプルアラートルールのアップデート

潜在的に危険なユーザー操作を検知するためのアラートルールのサンプル(英語環境用)がアップデートされ、サンプル数が増えました。

54.1.7 レポート作成ページの構成変更

レポート作成ページのページ構成が変更されました。

54.1.8 Putty 使用時の Ubuntu ターミナルの再現画面の改良

54.1.9 サポート期限終了の事前通知

サポートライセンスが期限切れに近くなった時に、通知を出す機能が追加されました。

54.2 エンタープライズ版

54.2.1 ServiceNow チケットिंगシステムへの対応

チケットングシステム連携機能は、これまで SysAid に対応していましたが、このバージョンからはさらに ServiceNow にも対応しました。ユーザーは Windows クライアントがインストールされ、チケットング番号の入力が有効にされている Windows にログインする際に有効なチケットング番号を入力する必要があります。記録セッションはチケットング番号で検索可能になります。

54.2.2 メンテナンス時データベース一時切り離し

Ekran クライアントと Ekran サーバーのデータベースとの接続を管理画面のボタンクリックで遮断する機能が追加され、Ekran サーバーサービスを停止しなくてもデータベースのクリーンアップやメンテナンスを実行できるようになりました。データベースのメンテナンスが終わったら Ekran クライアントを 1 クリックでオンライン状態に戻せます。

55 v.6.1 (Build: 6.1.155)

55.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

55.1.1 管理ツールのインターフェース改良

Ekran 管理ツールの UI デザインが変更され、快適性が増しました。

55.1.2 Linux クライアントの限定的保護機能

Ekran Linux クライアントの記録プロセスが kill された場合でも、記録は継続され記録データはオフラインキャッシュに保存されます。次回、Ekran Linux クライアントが正常に起動されると、オフラインキャッシュの内容は Ekran サーバーに送信されます。

55.1.3 VMware Horizon でのリモート IP の検出

VMware Horizon 環境のクライアントの IP アドレスをセッション検索時に使用可能になりました。

55.1.4 IPv6 リモートアドレスの表示等 IPv6 対応強化

これまで、Ekran クライアントは記録対象コンピューター (Ekran クライアントのインストールされたコンピューター) のローカル IPv6 アドレスを記録しましたが、このバージョンからは、記録対象コンピューターへのリモートデスクトップ接続元の IPv6 アドレスも記録されるようになりました。

55.1.5 アラートタイプの追加:クリップボードテキストでアラート生成

Windows コンピューターでクリップボードへのコピー・切り取りイベントでアラートを生成することと、クリップボードからの貼り付けイベントでアラートを生成することが可能になりました。

55.2 エンタープライズ版

55.2.1 Ekran 動作状況のモニター

Ekran のデータベース使用容量や内部エラーの状況等を管理ツール上でモニターし、またイベントをメール通知することが可能になりました。

55.2.2 Ekran サーバーHW リソースのモニター

Ekran サーバープロセスが消費する CPU リソースやデータベースへのレコード挿入数等を管理ツール上でモニターできるようになりました。

55.2.3 指定期間以上接続のないクライアントの検出・通知

管理者が指定した期間(N 日)以上 Ekran クライアントが Ekran サーバーから認識されないとき、管理者にメール通知することが可能になりました。Ekran クライアントに問題が発生した時にこれに気がつく助けになります。

55.2.4 記録有効無効のリモート IP アドレス別設定

このバージョンからは記録対象コンピューター (Ekran クライアントのインストールされたコンピューター) へのリモートデスクトップ接続元 IP アドレスによって、ユーザー操作を記録するかしないかを選択することが可能になりました。

55.2.5 ログインのリアルタイム手動承認を必要とするコンピューターのグループ指定可能

ユーザーが Windows コンピューターにログインするときに Ekran 管理者の承認を必要とする設定で、この設定の対象とするコンピューターと対象としないコンピューターを Ekran 管理ツールで設定済みのコンピューターグループ単位で指定可能になりました。

55.2.6 HA モードの改良: 独立ライセンスサーバーの廃止

これまで Ekran サーバーを複数台高可用性モードで動作させる場合、独立のライセンスサーバーが必要でしたが、このバージョンからは不要になりました。

56 v.6.0 (Build: 6.0.592)

56.1.1 マルチテナントモードの追加 (Windows クライアントのみ)

1 つの Ekran サーバーに複数のテナントを設けることが可能になりました。各テナントは独立しており、それぞれ個別の Ekran 管理ユーザー、記録済みデータ、Ekran クライアントのリスト、記録設定等を含みます。

56.1.2 キーストローク有効無効のアプリケーション別設定

ユーザー操作記録中にキーストロークの記録も行うかを、特定アプリケーション名で行う (行わない) ように指定が可能になりました。

56.1.3 レポートにカスタムロゴを挿入可能

レポートに挿入されるロゴ画像を指定できるようになりました。

(最終ページ)

日本語マニュアル発行日 2021年07月27日

本マニュアル原文は『Ekran System Release Notes』です

ジュピターテクノロジー株式会社